IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2023年４月度）

- 参加手続きが完了している**ISP**（インターネット・サービス・プロバイダ）は**77社**。
  当該ISPの**約1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**４,６８５件**の**対象を検知**しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、１日平均**３８８件**の**対象を検知**しISPへ通知。

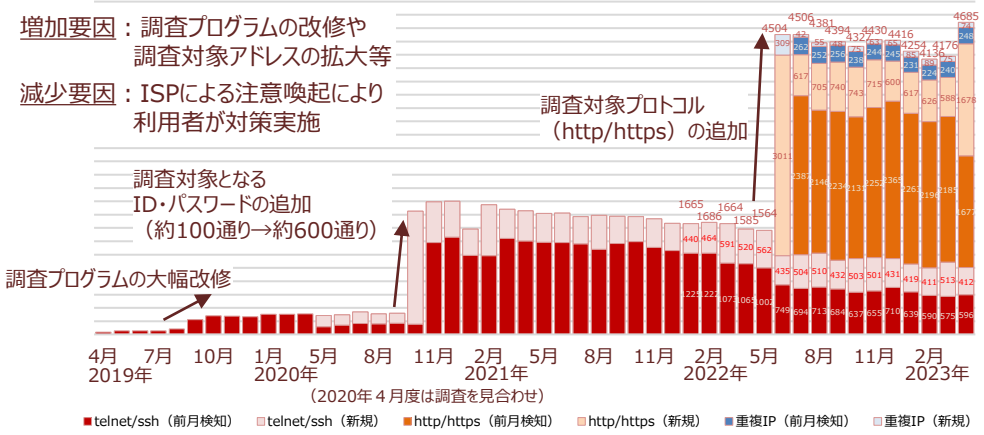
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

４,６８５件（3月度:4,176件）

（参考） 2019年度からの累積件数：87,435件
ID・パスワードが入力可能だったもの：20.9万件

*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

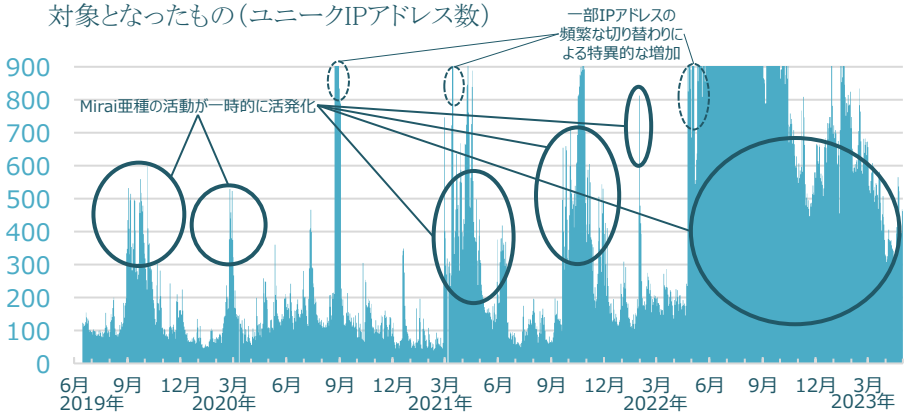
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

１日平均３８８件（3月度:516件）

（参考） 期間全体での値：１日平均440件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,288件(2022/6/6)

**) NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。